

## 5. ボストン福島シャトル便



いよいよ最低気温がマイナスになり寒くなってきました。Thanksgiving が控えているので、先週楽しんだ Halloween の話題を早速お届けします。

10 月に入った頃、近くのお店で子どもの衣装選びをすることから準備をはじめました。1 年もない留学で 1 回しかないイベントなので、親としては何か珍しい衣装をと思ったものの、本人の希望で、店頭で一番品数の多いお決まりのガイコツになりました…。次に、かぼちゃは絶対に作った方が良い！という情報を夫が仕入れてきたので、なんだか面倒な気もしたのですが、大きなカボチャ 2 つと作成キットを買いました。早く作りすぎると腐るそうなので、これは 1 週間前までリビングに放置。

だんだん気分が盛り上がってきたので、子どもの衣装を持ってセーラムというボストン郊外でかつて魔女狩りが行われた観光地に行き、大学生協のイベントにも参加しました。はじめは人前で衣装を着るのをすごくはずかしくて泣いていた子どもも慣れてきて、コスチュームで地下鉄に乗ってました。コスチューム着ていても、誰も気に留めないのがアメリカです。写真は、セーラムのカボチャコンテスト（子ども作）。



我が家でもいよいよ1週間前なので、新聞紙をリビングに置いて、かぼちゃをくり抜く準備をしました。気合入れてナイフを入れたら、なんと、Halloween 用のかぼちゃは中身がない！すごい品種改良に驚きました。1時間格闘した結果がこちらです。



10月31日当日は子どもの学校で Halloween Party があり、お手伝いのボランティアを試してみました。カボチャを使ったお菓子を食べてカボチャのお勉強、福笑いをしてお互いに励ますスピリットのお勉強でした。それから低学年は衣装を着て校庭をパレードしたのですが、高学年が盛大に拍手してくれてとっても嬉しそうでした。一度家に帰ってから、いよいよ夜の Trick-or-Treat です。近所を1時間以上歩き回って、100個近くのお菓子をもらいました。ごく普通の通りが遊園地みたいになっていて、一番すごいお宅はこんなでした。飾り物は動くし、音響も照明もありで、右端が我が家の息子です。



今回のイベントで、とにかく体験してみることの楽しさを堪能したので、今度は Thanksgiving と Christmas で何をトライするか思案中です。

